

マティスとボナール

地中海の光の中へ

会 期：2008年5月31日(土)～7月27日(日)
 休 館 日：月曜日(ただし7月21日は開館)、7月22日(火)
 開館時間：午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]
 観 覧 料：一般1200円(1100円)、20歳未満と学生1050円(950円)、65歳以上600円
 ＊高校生以下と障害者の方は無料です。()内は20名以上の団体料金
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1 tel.046-875-2800
 主 催：神奈川県立近代美術館、東京新聞
 後 援：フランス大使館
 協 賛：光村印刷株式会社
 協 力：全日本空輸

20世紀フランス絵画の巨匠アンリ・マティス(1869-1954)とピエール・ボナール(1867-1947)。19世紀末から20世紀初めの時代、彼らはそれぞれに新しい絵画を求めて、マティスはフォーヴィスムの運動、ボナールはナビ派の運動に積極的に関わっていきました。そうした試みを糧にして、自分自身の絵画を見出していったふたりは、絵画への信頼と愛を共有して、それぞれの仕事を深めていくとともに、互いの存在を認め合いながら交友を続けました。後半生をともに、透明で輝かしい光が溢れる南仏の地中海沿岸に暮らし、制作に没頭したマティスとボナールが、絵画で何を目指していたのか、何を成し遂げたのか。この展覧会ではそのことを、ふたりの優れた作品を比較しながら見るとともに、大画家同士の友愛に満ちた交友のさまにも光を当てていきます。

本展では、20世紀絵画の中できわめて高い評価を受けてきたふたりの仕事を下記の7つの章に分けて振り返り、国内外の所蔵家、美術館の協力のもと油彩、水彩、素描、版画など約120点を出品します。彼らの作品を堪能するとともに、ふたりの成熟した絵画の響き合いをお楽しみいただければと思います。

第I章	ボナール 1867-1908	ジャポニスムのナビ アンティミスムと装飾
第II章	マティス 1869-1929	フォーヴの実験から成熟の時代へ
第III章	ボナール 1909-1924	地中海の光に導かれて
第IV章	マティス 1930-1942	主題と変奏 新しい探求
第V章	ボナール 1925-1947	視神経の冒険
第VI章	マティス 1943-1954	究極の開花へ
第VII章	マティスとボナール	絵画への賛歌

[関連プログラム]

◎記念講演「マティスとボナール 星の友情(仮)」レミ・ラブリュス(ピカルディ大学教授、美術史)
 日 時：6月1日(日) 午後1時30分～午後3時30分
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
 定 員：70名(要申込)、無料
 申込方法：住所、氏名、電話番号、ファックス番号をお書きの上、ファックスにてお申込ください(先着順)。
 申 込 先：神奈川県立近代美術館 葉山 ファックス046-875-2968
 申込締切：5月23日(金)
 ＊定員に空きがある場合またはキャンセルが出た場合、当日追加で受け付けることがあります。

◎担当学芸員によるギャラリートーク
 日 時：6月7日(土)、21日(土)、7月12日(土)、26日(土) 午後2時から30分程度
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室
 予約不要、無料(ただし「マティスとボナール」展の観覧券が必要です)。

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2008r_matisse_bonnard.pdf

お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
 tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968 広報担当：山内、土居 展覧会担当：長門
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>